

A photograph of a classroom where several students are seated at desks. In the foreground, a young girl with dark hair is looking at a tablet. To her right, a young boy is also looking at a tablet. In the background, other students are visible, some using laptops. An open book lies on the desk in front of the girl. The scene is brightly lit, suggesting a modern educational environment.

Microsoft Teams

- 事前準備 -

日本マイクロソフト株式会社

目次

1. Office 365 Education A1 概要
2. テナントの取得
3. サインイン
4. ユーザー登録 (GUI : 画面上からの登録)
5. O365 グループの作成
6. Office 365 グループへのメンバー追加

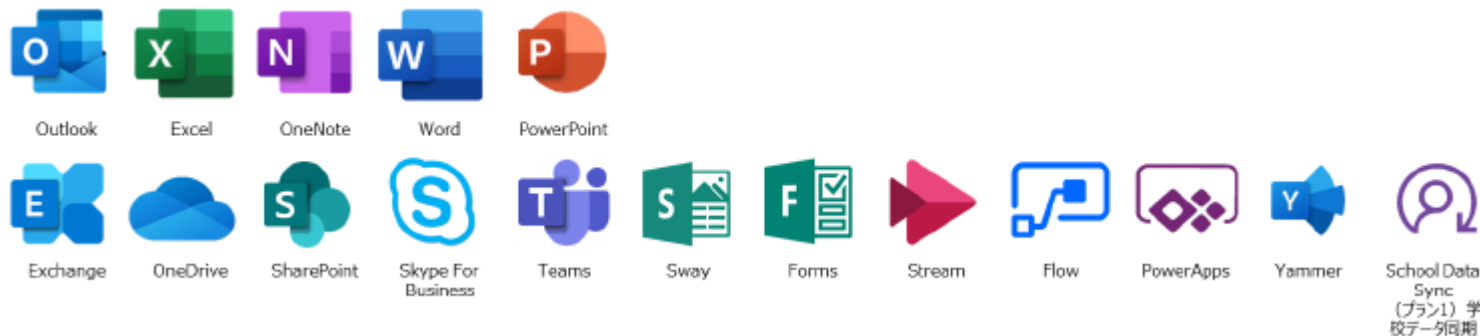
【補足】

7. PowerShell の導入手順
8. ユーザーの一括登録 (PowerShell)
9. ユーザーの一括編集 (PowerShell)
10. チームの一括作成
11. チームへのメンバー追加
12. 用語

1. Office 365 Education A1 概要

1. Office 365 Education A1 概要

オンライン版 Office、メール、ビデオ会議とクラス チームワークのためのカスタマイズ可能なハブ (Microsoft Teams)、コンプライアンス ツール、情報保護機能を利用できます。完全に無料で、利用期間の制限はありません。



- デスクトップ版の OneNote
- Microsoft Teams (学校での共同作業の促進に必要な会話、コンテンツ、アプリケーションを統合するデジタル ハブ)
- Class Notebook と Staff Notebook
- PLC (Professional Learning Community) グループ
- Forms を使用した自己採点小テスト
- Sway を使用したデジタル ストーリーテリング
- 情報伝達や連携のためのコミュニケーション サイトやチーム サイトを学校のイントラネットで作成 (SharePoint を利用)
- 各種コンプライアンス ソリューションと統合電子情報開示センター
- アクセス権管理、データ損失防止、暗号化
- セキュリティを維持しながらビデオの作成、管理、共有を組織全体で行うためのエンタープライズ ビデオサービス
- コードを書かずにアプリを開発できるツールを利用して、業務データを簡単に独自の Web / モバイル アプリで活用
- 様々なアプリやサービスにまたがるワークフロー自動化機能を利用して、コードを書かずにビジネス プロセスを自動化
- スケジュールと日常業務の計画を管理する Microsoft Teams
- メールと 50 GB のメールボックス
- 容量無制限の個人用オンラインストレージ ※アカウント数により制限が生じる場合があります。
- HD ビデオ会議
- 最大ユーザー数：無制限
- 容量無制限でメールを補完するインプレース アーカイブ
- アーカイブと訴訟ホールドを備えた高度なメール機能



2. テナントの取得

2. テナントの取得 – 事前準備・確認事項

【事前準備・確認事項】

① ドメイン名を決める

パターン 1：初期ドメインのまま利用

例) gakkomei.onmicrosoft.com

パターン 2：サブドメイン名で利用

例) houjinmei.ed.jp

※別途ドメインの申請手続きが必要です。

パターン 3：既存のドメインの独自ドメイン名で利用

例) gakkomei.houjinmei.ed.jp

※別途サブドメインの追加手続きが必要です。

② 管理者用 ID とパスワードを決める

③ 教育機関を表す (ed.jp もしくは ac.jp) メールアドレスを 1 つご用意ください。

④ 申請期間のホームページに記載されている事項の確認

※ 申請時の機関名、郵便番号、住所、電話番号の入力内容はホームページ掲載内容と同じものを入力してください。

⑤ ドメイン認証のためお手元に携帯電話をご用意



2. テナントの取得 – テナント申請手続き

Microsoft | Microsoft 365 製品 ▾ 機能 ▾ リソース ▾ サポート

すべて Microsoft 製品 ▾ 検索 🔍 サインイン 👤

無料の Office 365 を学校全体で

学校での共同作業を、無料の生産性向上ツールでさらに促進しましょう。この特典をご利用いただくには、認定を受けた教育機関であることの証明が必要になります。

無料で使用開始

学生または教職員の方が個人で申し込む場合はこちら >

1. <https://aka.ms/a1free> を開きます。
2. [無料で使用開始] を押下します。



2. テナントの取得 – テナント申請手続き

Office 365 Education

表示数を増やす

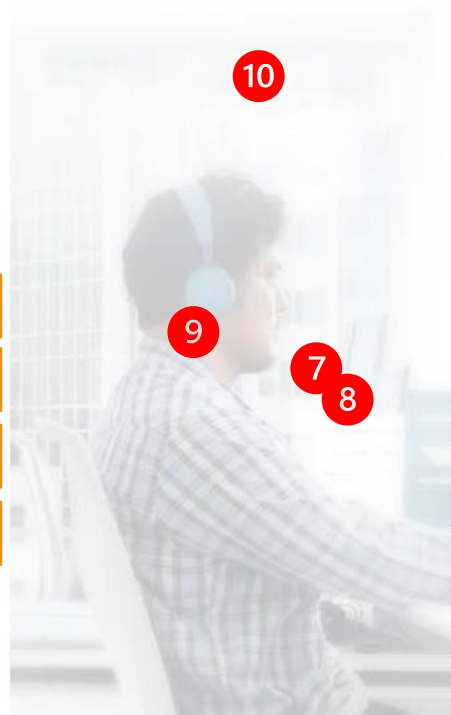
既存のサブスクリプションに追加しますか?

サインイン

ようこそ、必要事項をご記入ください

- 1 国または地域
サインアップ後には変更できません。その理由:
- 2 姓 (例: 田中) | 名 (例: 太郎)
- 3 勤務先の電子メール アドレス
- 4 勤務先の電話番号
- 5 会社名
- 6 組織の規模

次へ ➞



1. 以下の必要事項を入力します。

- 1 [国または地域]
… [日本] を選択します。
- 2 [姓 / 名]
… ご担当者の氏名を入力します。
- 3 [勤務先の電子メールアドレス] 事前準備③参照
… ご担当者のメールアドレスを入力します。
- 4 [勤務先の電話番号] 事前準備④参照
… 申請機関の電話番号を入力します。
※ ホームページに記載している電話番号
- 5 [会社名] 事前準備④参照
… 申請機関の名前を入力します。
※ ホームページの表示機関名
- 6 [組織の規模]
… 学校の規模を選択します。

2. [次へ] を押下します。



2. テナントの取得 – テナント申請手続き

ユーザー ID の作成

アカウントにサインインするにはユーザー ID とパスワードが必要です。

1 ユーザー名 @ 会社名を入力します .onmicrosoft.com ?

admin@会社名を入力します.onmicrosoft.com

3 ドメイン名に問題がない場合は ✓ がつきます。

4 パスワードの作成
パスワードの確認

[アカウントの作成] をクリックすると、ご契約条件および既定のコミュニケーション設定に同意することになります。

5 パートナーの製品やサービスについての関連情報を受け取ることができるように、Microsoft が自分の情報を特定のパートナーと共有することを希望します。詳細の確認や、登録解除 (いつでも実行できます) を行う場合は、[プライバシーに関する声明](#)をご覧ください。

Microsoft Online Services では、製品およびサービスを最大限にご活用いただくために、便利な利用方法やヒントをお知らせします。いつでも購読を解除できます。コミュニケーションのオプションの詳細については、[プライバシーに関する声明](#)を参照してください。

Microsoft Online Services から、製品、サービス、およびイベントに関する案内が届く場合があります。

電子メール

電話

アカウントの作成 をクリックすると、[試用に関する同意](#)を読んで理解したことを確認することになります。組織を代表してサインアップしている場合、[アカウントの作成] をクリックした個人がこの規約の条項に組織を拘束する権限を有し、組織の代表として組織がこの規約およびそのリンク先 Web サイトの記載に拘束されることに同意したことを表明するものとします。

アカウントの作成 →

1. 以下の必要事項を入力します。

- 1 [ユーザー名]
… 事前準備②で決めた
管理者アカウント名を入力します。
- 2 [会社名]
… 事前準備①で決めたドメイン名を
入力します。
ここでつけた名前は変更できません。
例) univcollege
- 3 ✓ が表示されてすでに同じ名前が
使用されていないことを確認します
- 4 [パスワードの作成/確認]
… 事前準備②で決めたパスワードを
入力します。
- 5 チェックボックス
… 必要に応じてチェックを入れます。

2. [アカウントの作成] を押下します。



2. テナントの取得 – テナント申請手続き

ロボットではないことを証明してください。

- 自分にテキストメッセージを送信 (SMS 認証)
- 自分に電話 (音声通話認証)

(+81) ▼ 市外局番の先頭に 0 のない電話番号

この電話番号を保存したり、または、その他の目的に使用したりすることはございません。

自分にテキストメッセージを送信 (SMS 認証) ➡

1. ご自分の携帯電話番号の入力をします。

例) 090xxxxxxxx の場合は
90xxxxxxxx と入力して下さい。

※ (+81) は日本の国番号となりますので、
変更しなくて問題ありません。

2. [自分にテキストメッセージを送信 (SMS 認証)] を押下します。



2. テナントの取得 - テナント申請手続き



2. テナントの取得 – テナント申請手続き

この情報を保存してください。
後で必要になります。

サインイン ページ

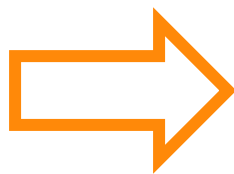
<https://portal.office.com/>

ユーザー ID

admin@univercolledge.onmicrosoft.com

サインアップを完了しています...

このページを更新しないでください



数分～数十分
表示が変わるまで待つ

この情報を保存してください。
後で必要になります。

サインイン ページ

<https://portal.office.com/>

ユーザー ID

admin@univercolledge.onmicrosoft.com

準備が整いました... ➡

[このページを更新しないでください] と表示されます。

テナントを作成していますので、[準備が整いました] と表示されるまで待ちます。

※数分 から 数十分要します。

[準備が整いました] と表示されたら、押下します。



2. テナントの取得 – 学校ドメインの登録

Office 365 Education の割引価格を利用する

- ようこそ
- ドメインの追加
- 完了

Office 365 Education へようこそ

登録済みのドメインを使用して教育機関の割引価格を提示します。

この後の手順で、利用しているドメイン名を入力してドメインを所有していることの確認を行います。教育機関によって使用されているドメインであることが確認されると、サブスクリプションの購入時に割引価格が適用されます。

差し当たりドメインの確認をスキップして、試用版をすぐに使い始めることもできます。

次

閉じる

本画面が表示されましたら、[閉じる] をクリックしてください。

作成したドメイン xxxx.onmicrosoft.com を使用して本トライアルテナントのご利用が可能となります。

貴校の独自ドメイン (Ex: xxx.edu , xxx.ac.jp etc…) 等をご利用になる場合は、Pxx (独自ドメインの追加) を参照してください。



3. Office 365 のサインイン

3. Office 365 のサインイン

Microsoft
サインイン
メール、電話、Skype
アカウントをお持ちではない場合、作成できます。
アカウントにアクセスできない場合
サインイン オプション
戻る 次へ



Microsoft
← [redacted]@[redacted]
パスワードの入力
パスワード
パスワードを忘れた場合
サインイン

1. <https://portal.office.com/> を開きます。
2. 作成したメールアドレスを入力します。
例) xxxx@xxxx.onmicrosoft.com
3. [次へ] をクリックします
4. 登録したパスワードを入力します。
5. [サインイン] をクリックします。

3. Office 365 のサインイン



admin@univercolledge.onmicrosoft.com

サインインの状態を維持しますか?

これにより、サインインを求められる回数を減らすことができます。

今後このメッセージを表示しない

いいえ

はい

[サインインの状態を維持しますか?]画面が表示されるので、
[はい] / [いいえ] のいずれかをクリックします。

補足💡

[はい] を選択した場合

ユーザー ID やパスワードが PC に保存され、次回からはしばらくサインインの手順が不要になります。

[いいえ] を選択した場合

PC にパスワードは保存されません。同じアカウントで共有の PC を利用する際は [いいえ] を選択してください。

[今後このメッセージを表示しない] にチェックを付けた場合

次回からこのメッセージは表示されず、選択した内容が適用されます。

<参考情報>

Title : Office 365 のセッションタイムアウト

URL : <https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/enterprise/session-timeouts>



4. ユーザー登録 (GUI : 画面上からの登録)

4. ユーザー登録 (GUI : 画面上からの登録)

登録時に作成された 1名の管理者ユーザー以外は新しく作成する必要があります。

ユーザの作成は Microsoft 365 管理センター もしくは PowerShell にて一括作成が可能となります。

本項目では **Microsoft 365 管理センター** からの作成方法についてご案内しております。

PowerShell を用いたユーザーの一括作成方法は 項番 x , 既に登録されているユーザーの一括編集は項番 x をご参照ください。

登録の流れ



4. ユーザー登録 (GUI) – インポートファイルの準備

クラス名簿作成依頼メールのサンプル

メールの文面例となります。適宜変更してご活用ください。

担任各位

お疲れさまです。x x xです。
コロナウイルスの影響に伴い、リモート授業の準備を行っております。

今回、Microsoft の Office 365 の利用に伴い、利用者(教員・生徒)をユーザー登録する必要があります。
つきましては、大変お手数をおかけしますが担任の先生はクラス分を添付ファイルに入力し、返信をお願いいたします。
期日は xx月 xx 日迄とします。

入力手順は以下を参照してください。

1. 添付の Excel ファイルを開きます。
2. [ユーザー名], [名], [姓], [役職], [部署] を入力します。
※[表示名] は関数により自動で表示されます。また、[部署] より右の項目の入力は入力しないでください。

- ※1. ※2. 役職に先生もしくは生徒とわかるように、部署にクラスを入力してください。
3. 入力完了後、[ファイル] - [名前を付けて保存] でファイル名に担当クラス名 “xx年xx組” と入力し、[保存] を押下します。(保存先はデスクトップなど、見つけやすい)
 4. 保存した Excel ファイルを本メールに添付の上、返信をお願いいたします。

[補足]

ご記入いただいたユーザー名が各自のサインイン / メールアドレスとなりますが、同姓同名でユーザー名が重複している場合、1名しか登録が行えません。
そのため、こちらにて登録アドレスを変更させていただく場合がございますので、ご留意ください。

何卒宜しくお願い致します。

サンプルフォーマット・メールテンプレート
※展開の際の参考としてご覧ください。



サンプルメ



4. ユーザー登録 (GUI) – インポートファイルの準備

インポートファイルの準備

以下テンプレートをもとに登録するユーザーリストのファイルを CSV 形式で作成します。

ユーザー名	名	姓	表示名	役職	部署	事業所番号	会社電話	携帯電話	FAX番号	住所	市区町村	都道府県	郵便番号	国/地域
taro.kyoushi@xxxxx.onmicrosoft.com	太郎	教師	先生 1	担任	1年1組									
jiro.kyoushi@xxxxx.onmicrosoft.com	次郎	教師	先生 2	担任	1年2組									
hanako.seito@xxxxx.onmicrosoft.com	花子	生徒	生徒 1	担任	1年1組									
yoshiko.seito@xxxxx.onmicrosoft.com	良子	生徒	生徒 2	担任	1年2組									

※ xxxx は作成したテナントのドメイン名と合わせてください。

※以下、ファイルを作成する作業の例となります。

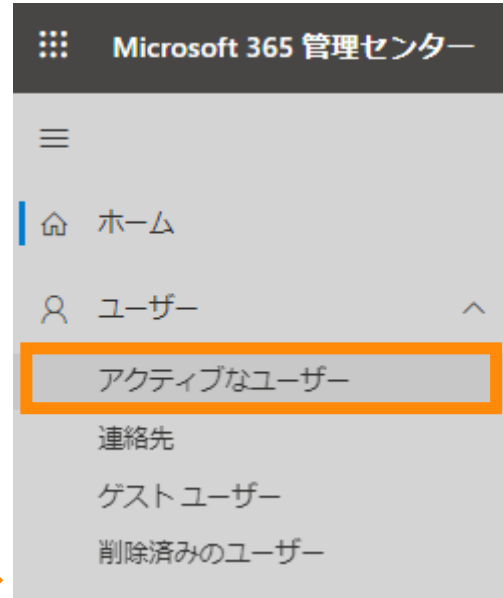
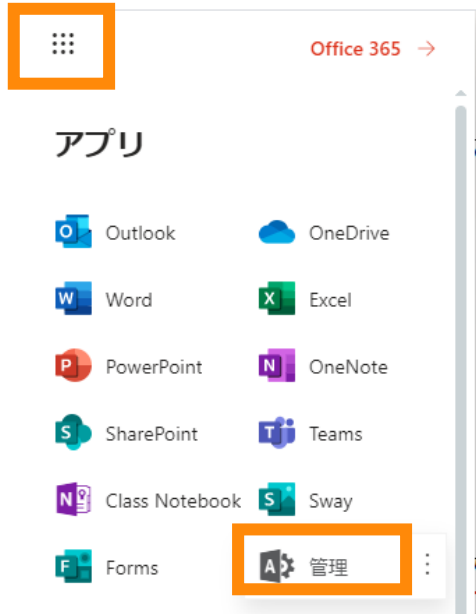
1. 管理者にて、各クラスの担任の先生 もしくは学年を代表する先生に、添付の Excel を配布し入力を依頼します。(次ページにサンプルメールあり)
2. 管理者にて、Excel ファイルを回収します。
3. 回収した Excel ファイルの中身を、コピー & ペーストで Excel ファイル「全校リスト」に集約します。
4. 全校リスト
ごめトライアルテナント作成時に設定したドメインを記載してください。
※ 後ほどライセンス付与の画面が表示されますので、先生用、生徒用で Excel ファイルを分けるようにお願いします。
5. 集約後、Excel ファイルを CSV ファイルに変換し保存します。
 - 4-1. Excel 画面左上の [ファイル] をクリックします。
 - 4-2. [名前を付けて保存] をクリックします。
 - 4-3. [この PC] をクリックします。
 - 4-4. [デスクトップ] をクリックし、[ファイルの種類] を “CSV (コンマ区切り) (*.csv)” を選択し、ファイル名を任意で記載します。
6. デスクトップに保存した CSV ファイルを右クリックし、“プログラムから開く (H)” – “メモ帳” をクリックします。
 - 6-1. メモ帳画面左上の [ファイル] をクリックします。
 - 6-2. [名前を付けて保存] をクリックします。
 - 6-3. [保存] の左にある [文字コード (E):] にて “UTF-8” を選択します。
7. [保存] をクリックします。

※ [xxxは既に存在します。上書きしますか?] と表示されますので、[はい] で上書きし保存します。



4. ユーザー登録 (GUI) - ユーザー追加画面への遷移

ユーザー追加画面への遷移

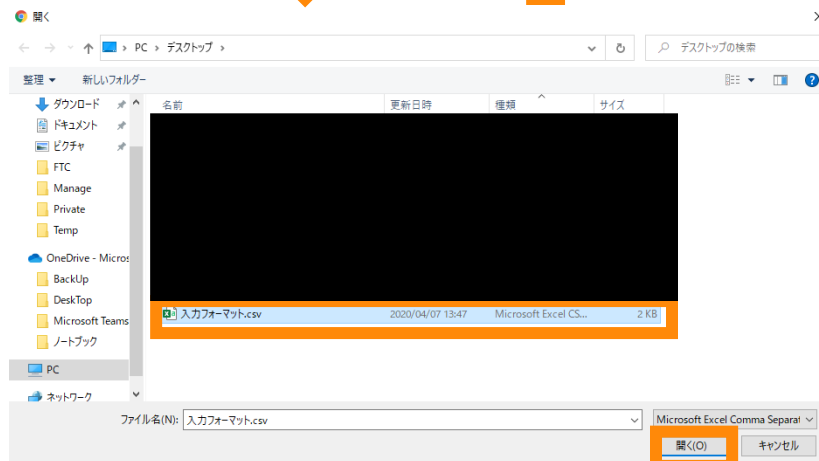


1. [Office 365](#) にサインインします。
2. 画面左上のアプリランチャーを押下し、[管理] を押下します。
3. Microsoft 365 管理センターが開くので、[ユーザー] - [アクティブなユーザー] をクリックします。
4. アクティブなユーザーの画面が開きますので、[複数のユーザーの追加] をクリックします。



4. ユーザー登録 (GUI) – インポートファイルの読み込み

インポートファイルの読み込み



1. [参照] を押下します。
2. ユーザー追加のために作成した CSV ファイル を選択し、[開く] をクリックします。
3. [確認] をクリックします。
4. ファイルに問題がない場合以下のメッセージが表示されます。
 - ✓ ファイルに問題はありません。[次へ] をクリックまたはタップしてください。
4. [次へ] をクリックします。



4. ユーザー登録 (GUI) – ライセンスの付与

ライセンスの付与

複数のユーザーのインポート

ファイルの作成とアップロード ユーザー オプションの設定 結果の表示

ユーザー オプションの設定

サインインの状態と、ユーザーに割り当てられる製品ライセンスを設定して、ユーザーのインポート方法を選んでください。

サインイン状態

サインイン許可
 サインイン禁止

製品ライセンス Office 365 A1 教職員用 ^

場所
日本

<input checked="" type="checkbox"/> Office 365 A1 教職員用 4999/5000 個のライセンスが使用可能	<input checked="" type="checkbox"/> オン
<input checked="" type="checkbox"/> Office 365 A1 児童/学生用 5000/5000 個のライセンスが使用可能	<input type="checkbox"/> オフ

お勧めできません:

製品ライセンスなしでユーザーを作成する オフ

ユーザーは、製品ライセンスが割り当てられるまでは、Office 365 に限定的にアクセスできるか、まったくアクセスできない場合があります。

i 製品ライセンスが不足している場合、一部のユーザーはライセンスが割り当てられずに作成されます。次のページで、結果のレポートをご覧になれます。レポートで、製品ライセンスの割り当てが必要なユーザーを確認できます。

戻る 次へ キャンセル

先生用の CSV ファイルを読み込んだ場合は、Office 365 A1 教職員用を [オン] にします。

生徒用の CSV ファイルを読み込んだ場合は、Office 365 A1 児童/学生用を [オン] にします。

※ [オン] にしたのちに、各ライセンスに付随する製品の全てが [オン] になりますのでご注意ください。

上記、設定後に [次へ] を押下します。

作成するユーザー数に応じて、登録に時間を要しますので、次の手順の画面が表示されるまで、お待ちください。



4. ユーザー登録 (GUI) – ユーザー作成完了

ユーザー作成完了

複数のユーザーのインポート

ファイルの作成とアップロード ユーザー オプションの設定 結果の表示

結果の表示
結果のレポートを示します。レポートは、ダウンロードして保存するか、自分と他のユーザーにメールで送信することができます。

2人のユーザーが作成されました ↓ 結果のダウンロード

結果のファイルをこれらのユーザーにメールで送信する

受信者 *

admin@univercolledge.onmicrosoft.com

これらのファイルをメールで送信する場合、パスワードがプレーンテキストで送信されます。

送信して閉じる

ユーザー アカウントが作成 または変更されました

ユーザー名: taro.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com
仮のパスワード: Yaw73550

ユーザー名: hanako.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com
仮のパスワード: Hal13740

次に行う必要がある作業は、以下のとおりです:

- この情報をユーザーに伝えます。
- ユーザーが仮のパスワードを使ってサインインすると、サインイン ページの指示に従って、独自のパスワードを作成できます。

[Office.com]
Office 365 にサインイン

1. ユーザー作成結果が表示されます。
[結果のファイルをこれらのユーザーにメールで送信する] にチェックを入れ、[送信して閉じる] を押下します。
2. 受信者に設定してあるユーザーに登録したユーザーのパスワード (自動生成) が送付されます。
登録したユーザーにアドレスとパスワードを通知してください。

※ユーザー数が多く、PWの通知が困難な場合、初期 PW を統一後、通知し、各ユーザーが自身でパスワードを決めることも可能です。

次ページに手順を記載しますのでご参照ください。



4. ユーザー登録 (GUI) – 初期パスワードの統一

初期パスワードの統一

The screenshot shows the Microsoft 365 Management Center interface. On the left, the navigation pane has 'アクティブなユーザー' (Active Users) highlighted. The main content area shows a list of active users with checkboxes selected for 'AdminTest', '山田 太郎', and '山田 花子'. A 'パスワードのリセット' (Reset Password) button is highlighted. A modal dialog box is open, titled 'パスワードのリセット' (Reset Password), with '自分でパスワードを作成する' (Create your own password) selected. The dialog includes a password field, a checkbox for '初回サインイン時にこのユーザーにパスワードの変更を要求する' (Require password change on first sign-in), and a 'リセット' (Reset) button.

1. 画面左上のアプリランチャーを押下し、[管理] を押下します。
2. Microsoft 365 管理センターが開くので、[ユーザー] – [アクティブなユーザー] をクリックします。
3. [表示名] の横にカーソルを合わせ、[○] を押下し、チェックを入れます。
4. 作業者のチェックをクリックし、チェックを外します。
5. [パスワードのリセット] をクリックします。
6. パスワードのリセット画面が表示されます。
[自分でパスワードを作成する] にチェックを入れます。
7. [パスワード]欄に任意のパスワードを入力します。
※ <強い> になっていることを確認してください。
8. [初回サインイン時にこのユーザーにパスワードの変更を要求する] にチェックを入れます。
9. [リセット] をクリックします。

4. ユーザー登録 (GUI) -パスワードリセット結果確認

パスワードリセット結果確認

×

パスワードのリセット

2人のユーザーを選択済み ⓘ

👍 パスワードが正常にリセットされました

ユーザー	パスワード (表示)
taro.yamada@univercolledge.onmic...	*****
hanako.yamada@univercolledge.on...	*****

パスワードをメールで送信

次の受信者にメールで新しいパスワードを送信 *

admin@univercolledge.onmicrosoft.com

メールを送信して閉じる

ユーザー アカウントが作成 または変更されました

ユーザー名: taro.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com
仮のパスワード: Yaw73550

ユーザー名: hanako.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com
仮のパスワード: Hal13740

次に行う必要がある作業は、以下のとおりです:

- この情報をユーザーに伝えます。
- ユーザーが仮のパスワードを使ってサインインすると、サインイン ページの指示に従って、独自のパスワードを作成できます。

[Office.com]
Office 365 にサインイン

1. パスワードリセット結果が表示されます。
[パスワードをメールで送信] にチェックを入れ、
[メールを送信して閉じる] を押下します。
2. 受信者に設定してあるユーザーに登録した
ユーザーのパスワード (自動生成) が送付
されます。
登録したユーザーにアドレスとパスワードを通知
してください。

4. ユーザー登録 (GUI) – ユーザーがサインした際の動作

ユーザーがサインした際の動作



サインイン

taro.yamada@

アカウントをお持ちではない場合、作成できます。

アカウントにアクセスできない場合

サインイン オプション

次へ



← taro.yamada@

パスワードの入力

.....

パスワードを忘れた場合

サインイン



taro.yamada@

パスワードの更新

初めてサインインするか、パスワードの有効期限が切れたため、パスワードを更新する必要があります。

現在のパスワード

新しいパスワード

パスワードの確認入力

サインイン

1. [Office 365](#) を開きます。
2. 展開されたアカウントを入力します。
3. 展開されたパスワードを入力します。
4. パスワードの更新画面が表示されますので以下の展開されたパスワードを入力し、
[新しいパスワード]/[パスワードの確認入力]
にご自身で設定するパスワードを入力します。



5. Office 365 グループの作成

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順 1



1. 画面左上のアプリランチャーを押下し、[管理] を押下します。
2. Microsoft 365 管理センターが開くので、[グループ] – [グループ] を押下します。
3. [グループの追加] をクリックします。

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順 2

グループを追加

グループの種類

- 基本
- 所有者
- 設定
- 完了

グループの種類を選択

チームのニーズに最も適したグループの種類を選択します。[グループの種類に関する詳細情報](#)

- Office 365 (推奨)
チームがグループメールと、会話、ファイル、予定表の共有ワークスペースを提供して、共同作業を行うことができます。
- 配布
リストのすべてのメンバーにメールが送信されます。
- メールが有効なセキュリティ
配布リストのすべての機能が含まれており、さらに、OneDrive および SharePoint へのアクセスの制御にも使用できます。
- セキュリティ
OneDrive と SharePoint へのアクセスを制御するもので、Microsoft 365 のモバイルデバイス管理に使用できます。

次へ

1. [Office 365 (推奨)] にチェックが入っていることを確認します。
2. [次へ] をクリックします。

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順3

グループを追加

グループの種類
基本
所有者
設定
完了

基本設定

最初に、作成するグループに関する基本的な情報をいくつか入力します。

名前 *
1年1組

説明
新しいグループの説明を入力

戻る 次へ

1. [名前] 欄にグループ名を任意で入力します。
2. [次へ] をクリックします。

※ 本項で付与した名前が Teams 上で表示されます。



5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順4

グループを追加

- グループの種類
- 基本
- 所有者
- 設定
- 完了

所有者の割り当て

グループの所有者は、メンバーを追加または削除したり、共有受信トレイから会話を削除したり、グループに関するさまざまな設定を変更したりするなど、固有のアクセス許可を持つことができます。グループの所有者はグループの名前を変更したり、説明や図などを更新したりできます。

① このグループに Microsoft Teams を追加する予定がある場合は、すべての所有者が Teams が含まれているライセンスを利用していることを確認してください。 [詳細情報](#)

所有者 *

AdminTest

戻る 次へ

1. [所有者] にグループの所有者のアドレスもしくはユーザー名を入力します。
2. [次へ] をクリックします。

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順 5

グループを追加

グループの種類

基本

所有者

設定

完了

設定の編集

Office 365 グループ
チームがグループメールと、会話、ファイル、予定表の共有ワークスペースを提供して、共同作業を行うことができます。

グループのメールアドレス*

1_1 @univercolledge.onmicrosoft.com

プライバシー

パブリック - 誰でもグループ コンテンツを参照できます

プライベート - メンバーのみがグループ コンテンツを参照できます

グループへの Microsoft Teams の追加

このグループのチームを作成する

① “外部の送信者を許可する” や “グループの会話のコピーをメンバーの受信トレイに送信する” などの一部の設定は、グループを作成してからでないと設定できません。 [この設定に関する詳細情報](#)

戻る 次へ

1. [グループのメールアドレス] を任意で入力します。
2. [プライバシー] にて [プライベート] にチェックを入れます。
3. [グループへの Microsoft Teams の追加] 欄の [このグループのチームを作成する] にチェックが入っていることを確認します。
4. [次へ] をクリックします。

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順 5

グループを追加

- ✓ グループの種類
- ✓ 基本
- ✓ 所有者
- ✓ 設定
- 完了

確認とグループの追加の完了

あと少して完了です。新しいグループを追加する前に、すべての内容が正しいことを確認してください。

グループの種類
Office 365
[編集](#)

基本
名前: 1年1組
[編集](#)

所有者
AdminTest
[編集](#)

設定
メール: 1_1@univercolledge.onmicrosoft.com
プライバシー: Private
Add Microsoft Teams: はい
[編集](#)

1. 入力結果に誤りがないか確認します。
2. [グループを作成] をクリックします。

戻る

グループを作成

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順6

グループを追加

- ✓ グループの種類
- ✓ 基本
- ✓ 所有者
- ✓ 設定
- ✓ 完了

✓ **新しいグループが作成されました**

このグループは、5分以内にグループの一覧に表示されます。

グループが作成されたので、次の設定を変更できます：

- グループの会話やイベントのコピーがグループメンバーの受信トレイに送信されます
- 組織外のユーザーによるこのグループへのメール送信を許可する

詳細を確認しますか？

[グループを使用した効果的な共同作業](#)

次のステップ

[別のグループを追加する](#)

[閉じる](#)

1. [閉じる] をクリックします。

5. Office 365 グループの作成

Office 365 グループの作成：手順7

Microsoft 365 管理センター

EducationTest

グループ

新しい配布グループとメールが有効なセキュリティグループがグループリストに表示されるまでに、最大で1時間かかることがあります。新しいグループがまだ表示されていない場合は、Exchange 管理センターに移動してください。

グループの種類に関する詳細情報

グループの追加 **更新** 1個のア

グループ名 ↓	グループ メール	種類	同期の状...	Teams の状態	メンバーシップ...	グループブ...	作成日
1年1組	1_1@univercolledge.onmicrosoft.com	Office 365	☁	📺	割り当て済み	Private	2020/4/8 午前11:12

1. [更新] をクリックし、グループが作成されているか確認します。

※ この段階ではグループの作成が完了したのみで、メンバーは所有者のみとなります。メンバーの追加は事項をご参照ください。

6. Office 365 グループへのメンバー追加

6. Office 365 グループへのメンバー追加

Office 365 グループへのメンバー追加：手順 1

1. 画面左上のアプリランチャーを押下し、[管理] を押下します。
2. Microsoft 365 管理センターが開くので、[グループ] – [グループ] を押下します。
3. メンバーを追加したグループをダブルクリックします。
4. 該当のグループの設定画面が表示されますので、[メンバー] をクリックします。
5. すべての [メンバーの表示と管理] をクリックします。



6. Office 365 グループへのメンバー追加

Office 365 グループへのメンバー追加：手順 2

1年1組
Office 365

+メンバーの追加

メンバーの表示

メンバーの検索

検索

グループメンバー (0)
一致する項目はありません

閉じる

1年1組
Office 365

保存 キャンセル

メンバーの追加

追加するメンバーの検索

検索

追加しています (2)

すべて (3)

<input type="checkbox"/>	AD AdminTest	admin@univercolledge.onmi...
<input checked="" type="checkbox"/>	山田 山田 花子	hanako.yamada@univercolle...
<input checked="" type="checkbox"/>	山田 山田 太郎	taro.yamada@univercolledg...

保存 キャンセル

1. [+メンバーの追加] を押下します。
2. ユーザーが表示されるので、追加するメンバーのチェックボックスにチェックを入れます。
※ ユーザーが多数いる場合は、[検索] にて表示名もしくはメールアドレスを入力し、チェックを入れていきます。
3. [保存] をクリックします。

6. Office 365 グループへのメンバー追加

Office 365 グループへのメンバー追加：手順 2



グループメンバーシップが更新されました。更新はすぐに有効になります。

閉じる



EducationTest

グループ

新しい配布グループとメールが有効なセキュリティグループがグループリストに表示されるまでに、最大で1時間かかることがあります。新しいグループがまだ表示されていない場合は、Exchange 管理センターに移動してください。

グループの種類に関する詳細情報

グループの追加 更新 名前と説明を編集する @メールアドレスの編集 グループの削除

グループ名 ↑	グループメール	種類	同期の状...	Teams の状態	メンバーシッ...
1年1組	1_1@univercolledge.onmicrosoft.com	Office 365			割り当て済み

メンバー (2)

名前	メールアドレス
山田 太郎	taro.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com
山田 花子	hanako.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com

1. [閉じる] をクリックします。
2. メンバーを追加したグループをダブルクリックします。
3. 該当のグループの設定画面が表示されますので、[メンバー] 欄を確認します。

補足

Session 1.52.1

a: 13886
i: 12136

PWF: Action

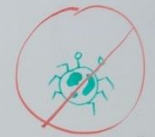
- ~~Leaderboard works?~~ ✓
- Expedition with friends ✓
- Friends displayed in PWF ✓
- Friends show up on Map ✓
- Friends show up in Mine ✓
- Income Boost correct applied ✓
- Changing Name ✓
- Link/Unlink to Platform → different friends

✓ Migration (after Updating)

- Friends still displayed
- Income Boost still correct

Options

- Check
- Sort alphabet
- Cheats still
- Log can be cleared



7. PowerShell の導入手順

7. PowerShell の導入

PowerShell の導入：手順 1

IT プロフェッショナル 用 Microsoft Online Services サインイン アシスタント RTW

重要! ここで言語を選択すると、そのページのすべてのコンテンツが選択した言語に変更されます。

言語を選択: 日本語 ダウンロード

ダウンロードするプログラムを選んでください。

ファイル名	サイズ
<input type="checkbox"/> msoidcli_32.msi	4.1 MB
<input checked="" type="checkbox"/> msoidcli_64.msi	5.9 MB

ダウンロードの概要:
KBMBGB

1. msoidcli_64.msi

合計サイズ: 5.9 MB

次へ

Office 365 PowerShell とは？

Office 365 PowerShell を使用すると、コマンドとスクリプトで Office 365 を管理できるようになり、日常業務が効率化されます。

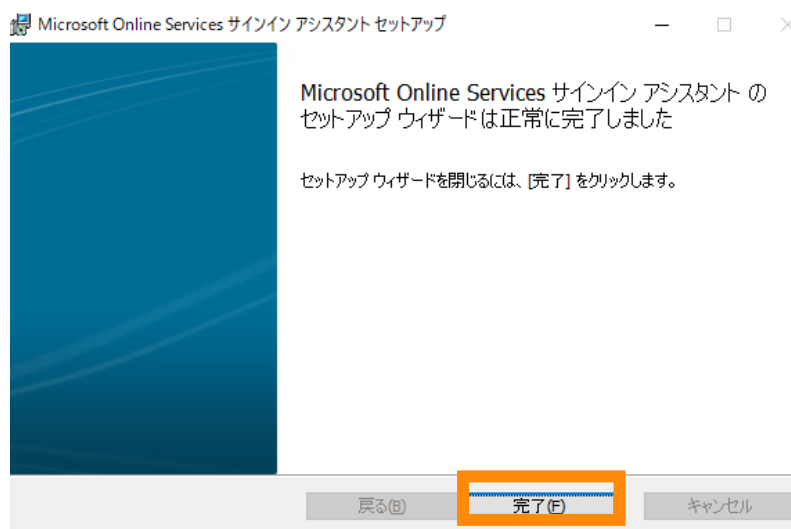
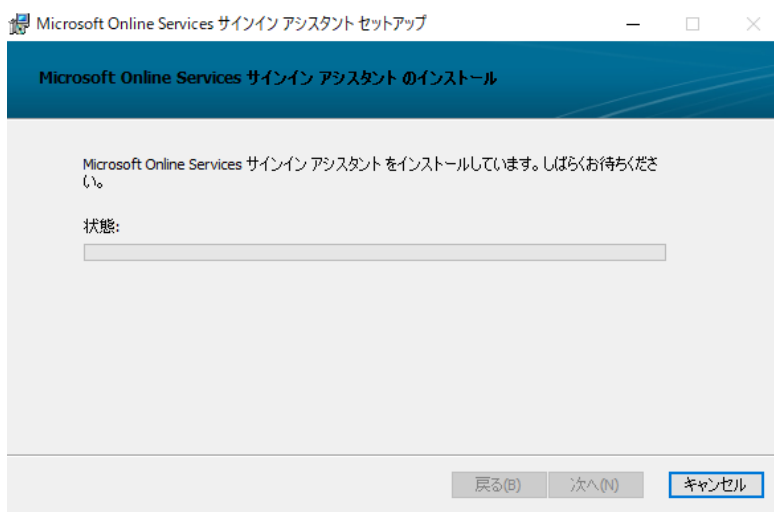
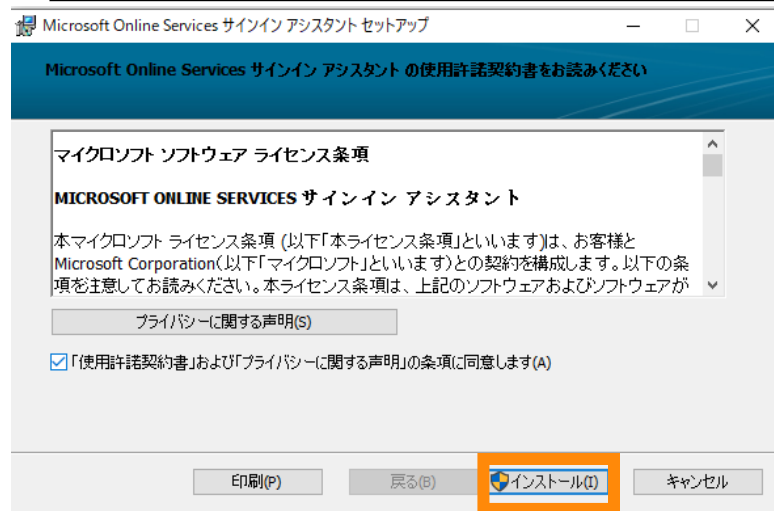
1. 以下の URL を開きます。
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=41950>
2. [ダウンロード] をクリックします。
3. [msoidclr_64.msi] を選択します。
4. [次へ] をクリックします。

自動でインストールが始まらない場合は、[30秒経ってもダウンロードが開始されない場合は、手動でダウンロードするにはここをクリック] と表示されますので、クリックし、手動でファイルを開いたうえで、次の項目へ進んでください。



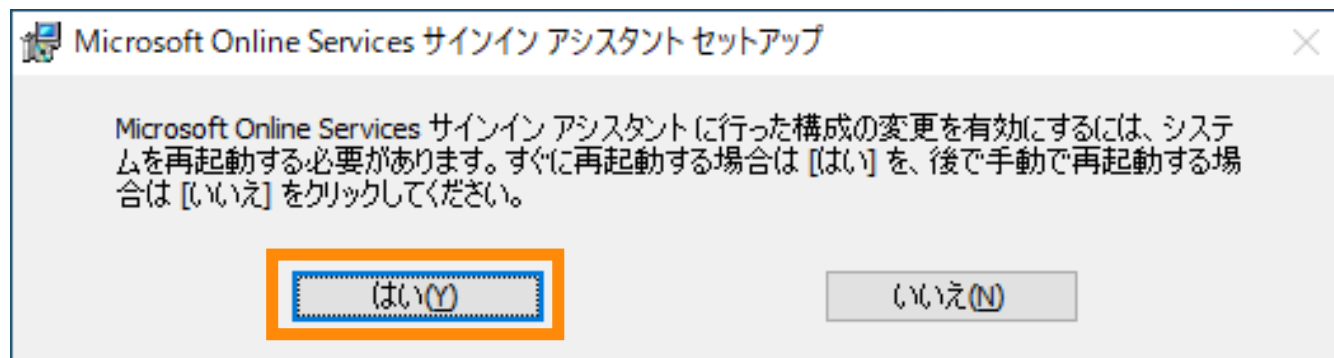
7. PowerShell の導入

PowerShell の導入 : 手順2



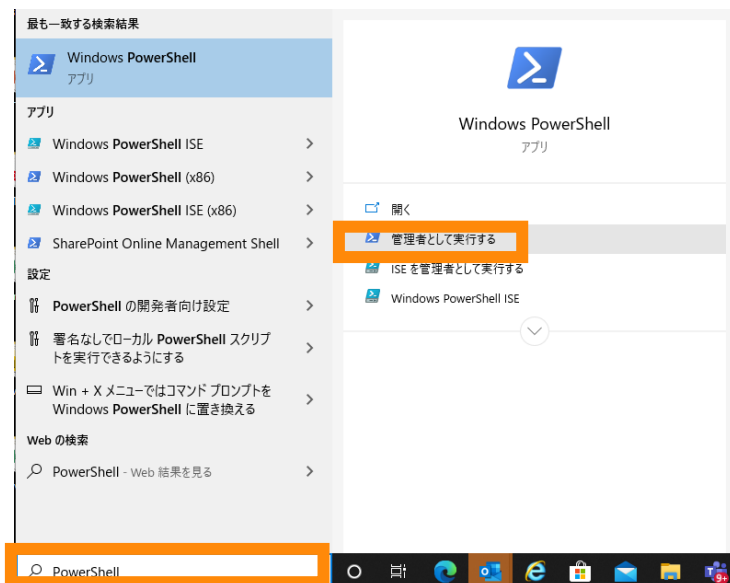
7. PowerShell の導入

PowerShell の導入 : 手順3



7. PowerShell の導入

PowerShell の導入：手順4



1. デスクトップの検索窓にて “PowerShell” と入力します。
2. [管理者として実行] をクリックします。
3. PowerShell コマンド プロンプトを開きますので Install-Module MSOnline と入力します。

- NuGet プロバイダーをインストールするようにメッセージが表示されたら、「Y」と入力し、ENTER を押します。
- PSGallery からモジュールをインストールするようにメッセージが表示されたら、「Y」と入力し、ENTER を押します。

4. Set-ExecutionPolicy RemoteSigned と入力します。

```
管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6
PS C:\WINDOWS\system32> Install-Module MSOnline

信頼されていないリポジトリ
信頼されていないリポジトリからモジュールをインストールしようとしています。このリポジトリを信頼する場合は、Set-PSRepository コマンドレットを実行して、リポジトリの InstallationPolicy の値を変更してください。'PSGallery' からモジュールをインストールしますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N"): Y
警告: バージョン '1.1.183.17' のモジュール 'MSOnline' は既に 'C:\Program Files\WindowsPowerShell\Modules\MSOnline\1.1.183.17' にインストールされています。バージョン '1.1.183.57' をインストールするには、Install-Module を実行して、-Force パラメーターを追加してください。このコマンドは、バージョン '1.1.183.57' を '1.1.183.17' に更新してインストールします。
PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned

実行ポリシーの変更
実行ポリシーは、信頼されていないスクリプトからの保護に役立ちます。実行ポリシーを変更すると、about_Execution_Policies のヘルプトピック (https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170) で説明されているセキュリティ上の危険にさらされる可能性があります。実行ポリシーを変更しますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N"): Y
```



7. PowerShell の導入

PowerShell の導入 : 手順5

```
管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6

PS C:\WINDOWS\system32> Install-Module -Name MicrosoftTeams

信頼されていないリポジトリ
信頼されていないリポジトリからモジュールをインストールしようとしています。このリポジトリを信頼する場合は、Set-PSRepository コマンドレットを実行して、リポジトリの InstallationPolicy の値を変更してください。'PSGallery' からモジュールをインストールしますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N"): Y
警告: バージョン '0.9.6' のモジュール 'MicrosoftTeams' は既に 'C:\Program Files\WindowsPowerShell\Modules\MicrosoftTeams\0.9.6' にインストールされています。バージョン '1.0.5' をインストールするには、Install-Module を実行して、-Force パラメーターを追加してください。このコマンドは、バージョン '1.0.5' を '0.9.6' と並行してインストールします。
PS C:\WINDOWS\system32> Install-Module -Name AzureAD

信頼されていないリポジトリ
信頼されていないリポジトリからモジュールをインストールしようとしています。このリポジトリを信頼する場合は、Set-PSRepository コマンドレットを実行して、リポジトリの InstallationPolicy の値を変更してください。'PSGallery' からモジュールをインストールしますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N"): Y
```

1. 以下コマンドレットを順番に入力します。
Install-Module -Name MicrosoftTeams
Install-Module -Name AzureAD

※それぞれインストールしても問題がない旨、表示されますので、[Y] を入力します。

7. PowerShell の導入

PowerShell の導入 : 手順6

```
管理: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6

PS C:\WINDOWS\system32> $UserCredential = Get-Credential
コマンド パイプライン位置 1 のコマンドレット Get-Credential
次のパラメーターに値を指定してください:
Credential
PS C:\WINDOWS\system32> $Session = New-PSSession -ConfigurationName Microsoft.Exchange -ConnectionUri https://outlook.office365.com/powershell-liveid/ -Credential $UserCredential -Authentication Basic -AllowRedirection
PS C:\WINDOWS\system32> Import-PSSession $Session
警告: モジュール tmp_zmfxymsg.kkv からインポートされたコマンドの中には、名前に承認されていない動詞を含むものがあり、このようなコマンドは検出される可能性が低くなる場合があります。承認されていない動詞を含むコマンドを見つけるには、Verbose パラメーターを使用してもう一度 Import-Module コマンドを実行してください。承認されている動詞の一覧を表示するには、「Get-Verb」と入力してください。

ModuleType Version Name ExportedCommands
-----
Script 1.0 tmp_zmfxymsg.kkv {Add-AvailabilityAddressSpace, Add-DistributionGroupMember...}

PS C:\WINDOWS\system32> Connect-MsolService -Credential $UserCredential
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-MicrosoftTeams

Account : admin@univercolledge.onmicrosoft.com
Environment : AzureCloud
Tenant : d801b304-e18d-44b2-bf97-cbc3ace525c6
TenantId : d801b304-e18d-44b2-bf97-cbc3ace525c6
TenantDomain : univercolledge.onmicrosoft.com

PS C:\WINDOWS\system32> Connect-AzureAD -Credential $UserCredential
```

Windows PowerShell 資格情報の要求

資格情報を入力してください。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

OK キャンセル

アカウントにサインイン

Microsoft

サインイン

メール、電話、Skype

アカウントをお持ちではない場合、作成できます。

アカウントにアクセスできない場合

サインイン オプション

次へ

1. 以下コマンドレットを入力します。
※すべてコピーし張り付けてください。
順番にコマンドレットが自動入力されます。

`$UserCredential = Get-Credential`

`$Session = New-PSSession -
ConfigurationName Microsoft.Exchange -
ConnectionUri
https://outlook.office365.com/powershell
-liveid/ -Credential $UserCredential -
Authentication Basic -AllowRedirection`

`Import-PSSession $Session`

`Connect-MsolService -Credential
$UserCredential`

`Connect-MicrosoftTeams`

`Connect-AzureAD -Credential
$UserCredential`

2. Office 365 および Teams への接続で 2度、
認証が求められますので、アカウント、パスワード
の入力をお願いします。



7. PowerShell の導入

PowerShell の導入 : 手順7

```
PS C:\WINDOWS\system32> Get-Mailbox
```

Name	Alias	Database	ProhibitSendQuota	ExternalDirectoryObjectId
TestAdmin	admin	JPNPRO1DG327-db029	49.5 GB (53,150,2...	374a5e28-8efd-44ac-b18...
DiscoverySearchMailbox...	DiscoverySea...	JPNPRO1DG136-db071	50 GB (53,687,091 ...	
taro.yamada	taro.yamada	JPNPRO1DG295-db066	49.5 GB (53,150,2...	37c4e882-2cf9-4a53-a05...
hanako.yamada	hanako.yamada	JPNPRO1DG341-db080	49.5 GB (53,150,2...	952a7897-7f80-40a8-840...

```
PS C:\WINDOWS\system32> Get-Msoluser
```

UserPrincipalName	DisplayName	isLicensed
admin@univercolledge.onmicrosoft.com	AdminTest	True
taro.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com	山田 太郎	True
hanako.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com	山田 花子	True

```
PS C:\WINDOWS\system32> Get-AzureADUser
```

ObjectId	DisplayName	UserPrincipalName	UserType
374a5e28-8efd-44ac-b185-865f25f8dea4	AdminTest	admin@univercolledge.onmicrosoft.com	Member
952a7897-7f80-40a8-840b-54e04b6808ee	山田 花子	hanako.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com	Member
37c4e882-2cf9-4a53-a052-44e138790ec8	山田 太郎	taro.yamada@univercolledge.onmicrosoft.com	Member

```
PS C:\WINDOWS\system32> Get-Team
```

GroupId	DisplayName	Description
21d270e9-ba0b-450e-9f39-b93ca7b80d72	1年1組	1年1組

以下コマンドレットを入力し、Office 365 に接続が
できているか確認します。

Get-Mailbox

Get-Msoluser

Get-AzureADUser

Get-Team

8. ユーザーの一括登録 (PowerShell)

8. ユーザーの一括登録 (PowerShell)

ユーザーの一括登録 (PowerShell) : 手順 1

UserPrincipalName	DisplayName	FirstName	LastName	Title	Department	Password	PasswordNeverExpires	LicenseAssignment
teacher1@univercolledge.onmicrosoft.com	先生 1	先生	1	先生	2年1組	2wsx"WSX	TRUE	univercolledge:STANDARDWOFFPACK_FACULTY
teacher2@univercolledge.onmicrosoft.com	先生 2	先生	2	先生	2年1組	3edc#EDC	TRUE	univercolledge:STANDARDWOFFPACK_STUDENT

1. ユーザー作成用の CSV ファイルを作成します。

<項目>

UserPrincipalName : E-mail アドレス

DisplayName : 表示名

FirstName : 名

LastName : 姓

Title : 任意 (例として立場を記入してます)

Department : 任意 (例としてクラスを記入してます)

Password : 任意

PasswordNeverExpires : パスワード無期限化

※パスワード無期限化としない場合は、

False としてください。

既定で 90 日毎にパスワード変更を要求されます。

LicenseAssignment :

先生用 → xxx:STANDARDWOFFPACK_FACULTY

生徒用 → xxx :STANDARDWOFFPACK_STUDENT

※ xxx はテナント作成時のドメインの独自の名称部分となります。

xxx.onmicrosoft.com

8. ユーザーの一括登録 (PowerShell)

ユーザーの一括登録 (PowerShell) : 手順 2

```
管理: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6

PS C:\WINDOWS\system32> $UserCredential = Get-Credential

コマンド パイプライン位置 1 のコマンドレット Get-Credential
次のパラメーターに値を指定してください:
Credential
PS C:\WINDOWS\system32> $Session = New-PSSession -ConfigurationName Microsoft.Exchange -ConnectionUri https://outlook.office365.com/powershell-liveid/ -Credential $UserCredential -Authentication Basic -AllowRedirection
PS C:\WINDOWS\system32> Import-PSSession $Session

警告: モジュール tmp_zmfxymsg.kkv
からインポートされたコマンドの中には、名前に承認されていない動詞を含むものがあり、このようなコマンドは検出される可能性が低くなる場合があります。承認されていない動詞を含むコマンドを見つけるには、Verbose パラメーターを使用してもう一度 Import-Module コマンドを実行してください。承認されている動詞の一覧を表示するには、「Get-Verb」と入力してください。

ModuleType Version Name ExportedCommands
-----
Script 1.0 tmp_zmfxymsg.kkv {Add-AvailabilityAddressSpace, Add-DistributionGroupMember...}

PS C:\WINDOWS\system32> Connect-MsolService -Credential $UserCredential
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-MicrosoftTeams

Account : admin@univercollege.onmicrosoft.com
Environment : AzureCloud
Tenant : d801b304-e18d-44b2-bf97-cbc3ace525c6
TenantId : d801b304-e18d-44b2-bf97-cbc3ace525c6
TenantDomain : univercollege.onmicrosoft.com

PS C:\WINDOWS\system32> Connect-AzureAD -Credential $UserCredential
```

Windows PowerShell 資格情報の要求

資格情報を入力してください。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

OK キャンセル

アカウントにサインイン

Microsoft

サインイン

メール、電話、Skype

アカウントをお持ちではない場合、作成できます。

アカウントにアクセスできない場合

サインイン オプション

次へ

1. PowerShell を管理者として実行します。
2. 以下のコマンドレットを入力します。

※すべてコピーし張り付けてください。

順番にコマンドレットが自動入力されます。

```
$UserCredential = Get-Credential
$Session = New-PSSession -
ConfigurationName Microsoft.Exchange -
ConnectionUri
https://outlook.office365.com/powershell
-liveid/ -Credential $UserCredential -
Authentication Basic -AllowRedirection
Import-PSSession $Session
Connect-MsolService -Credential
$UserCredential
Connect-MicrosoftTeams
Connect-AzureAD -Credential
$UserCredential
```

2. Office 365 および Teams への接続で 2 度、認証が求められますので、アカウント、パスワードの入力をお願いします。

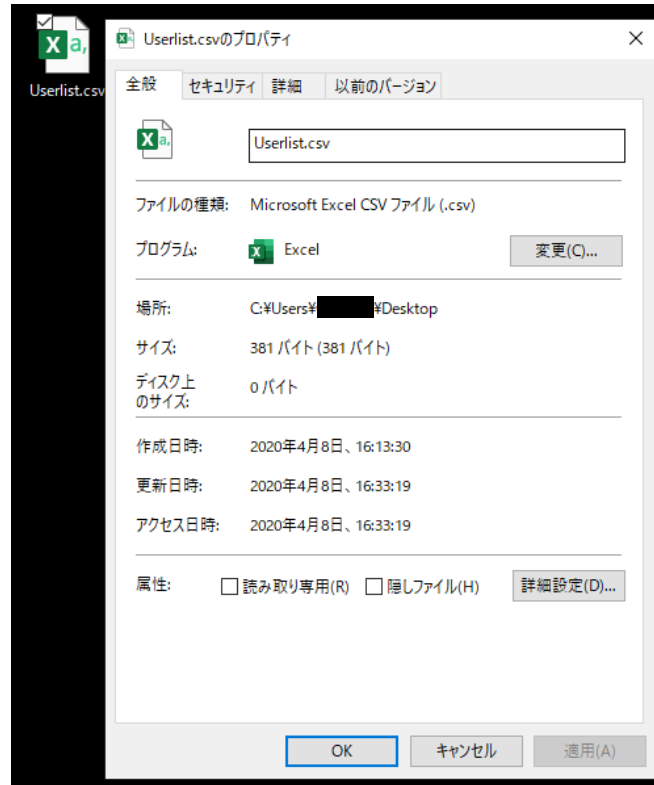


8. ユーザーの一括登録 (PowerShell)

ユーザーの一括登録 (PowerShell) : 手順 1

```
PS C:\WINDOWS\system32> Import-Csv "C:\Users\%#Desktop#userlist.csv" | ForEach-Object {New-MsolUser -UserPrincipalName $_.UserPrincipalName -DisplayName $_.DisplayName -FirstName $_.FirstName -LastName $_.LastName -Password $_.Password -LicenseAssignment $_.LicenseAssignment -UsageLocation JP -ForceChangePassword $False}
```

Password	UserPrincipalName	DisplayName	isLicensed
2wsx~WSX	teacher1@univercolledge.onmicrosoft.com	先生 1	True
3edc#EDC	teacher2@univercolledge.onmicrosoft.com	先生 2	True



1. 以下のコマンドレットを入力し、CSV ファイルを読み込みます。

```
Import-Csv "<作成したCSV ファイルのパス>" | ForEach-Object {New-MsolUser -UserPrincipalName $_.UserPrincipalName -DisplayName $_.DisplayName -FirstName $_.FirstName -LastName $_.LastName -Department $_.Department -Title $_.Title -Password $_.Password -LicenseAssignment $_.LicenseAssignment -UsageLocation JP -ForceChangePassword $False}
```

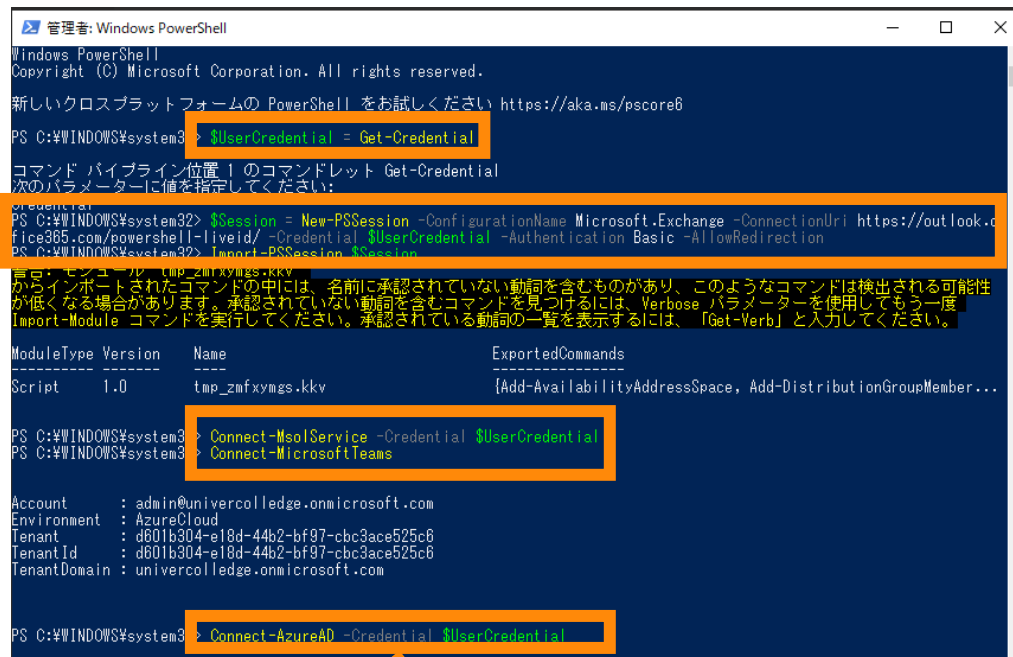
<補足：パスの確認方法>
デスクトップにファイルを置いた場合：
該当ファイル上にカーソルを合わせ、右クリックします。
プロパティが表示されるので、[場所]を確認します。
上記の <作成した CSV ファイルのパス> 欄に入力する際は、C: ¥ xxx ¥ xxx ¥ xxx に
ファイル名.csv を追記してください。



9. ユーザーの一括編集 (PowerShell)

9. ユーザーの一括編集 (PowerShell)

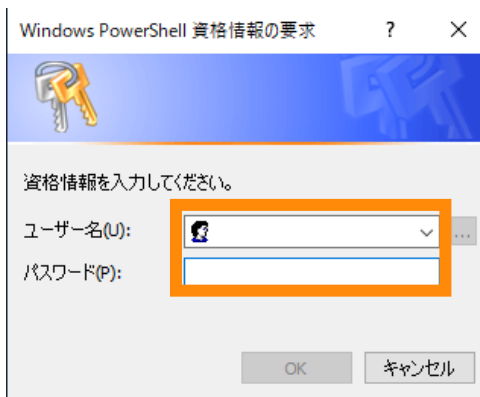
ユーザーの一括編集 (PowerShell) : 手順 1



```
管理: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6

PS C:\WINDOWS\system32> $UserCredential = Get-Credential
コマンド パイプライン位置 1 のコマンドレット Get-Credential
次のパラメーターに値を指定してください:
Credential
PS C:\WINDOWS\system32> $Session = New-PSSession -ConfigurationName Microsoft.Exchange -ConnectionUri https://outlook.office365.com/powershell-liveid/ -Credential $UserCredential -Authentication Basic -AllowRedirection
PS C:\WINDOWS\system32> Import-PSSession $Session
警告: モジュール tmp_zmfxymsg.kkv からインポートされたコマンドの中には、名前に承認されていない動詞を含むものがあり、このようなコマンドは検出される可能性が低くなる場合があります。承認されていない動詞を含むコマンドを見つけるには、Verbose パラメーターを使用してもう一度 Import-Module コマンドを実行してください。承認されている動詞の一覧を表示するには、「Get-Verb」と入力してください。
ModuleType Version Name ExportedCommands
-----
Script 1.0 tmp_zmfxymsg.kkv {Add-AvailabilityAddressSpace, Add-DistributionGroupMember...}
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-MsolService -Credential $UserCredential
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-MicrosoftTeams
Account : admin@univercollege.onmicrosoft.com
Environment : AzureCloud
Tenant : d801b304-e18d-44b2-bf97-cbc3ace525c6
TenantId : d801b304-e18d-44b2-bf97-cbc3ace525c6
TenantDomain : univercollege.onmicrosoft.com
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-AzureAD -Credential $UserCredential
```



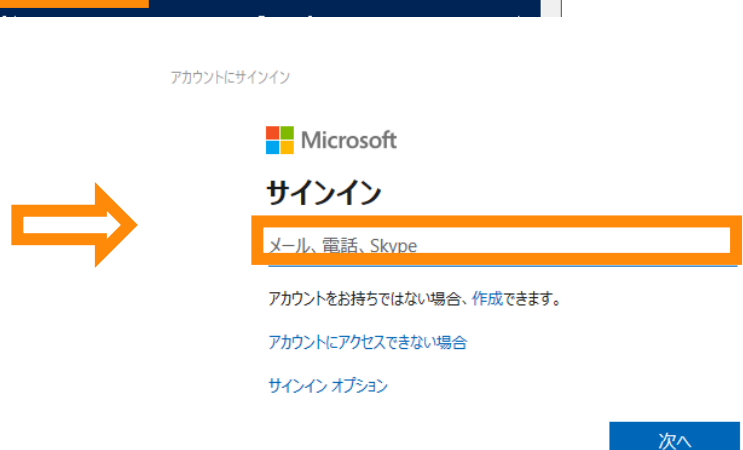
Windows PowerShell 資格情報の要求

資格情報を入力してください。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

OK キャンセル



アカウントにサインイン

Microsoft

サインイン

メール、電話、Skype

アカウントをお持ちではない場合、作成できます。

アカウントにアクセスできない場合

サインイン オプション

次へ

今回の手順は例として “Display Name (表示名)” を修正する手順を記載いたします。他項目でも同様の手順で変更可能です。

1. PowerShell を管理者として実行します。
 2. 以下のコマンドレットを入力します。
- ※すべてコピーし張り付けてください。

順番にコマンドレットが自動入力されます。

`$UserCredential = Get-Credential`

`$Session = New-PSSession -ConfigurationName Microsoft.Exchange -ConnectionUri https://outlook.office365.com/powershell-liveid/ -Credential $UserCredential -Authentication Basic -AllowRedirection`

`Import-PSSession $Session`

`Connect-MsolService -Credential $UserCredential`

`Connect-MicrosoftTeams`

`Connect-AzureAD -Credential $UserCredential`

2. Office 365 および Teams への接続で 2度、認証が求められますので、アカウント、パスワードの入力をお願いします。

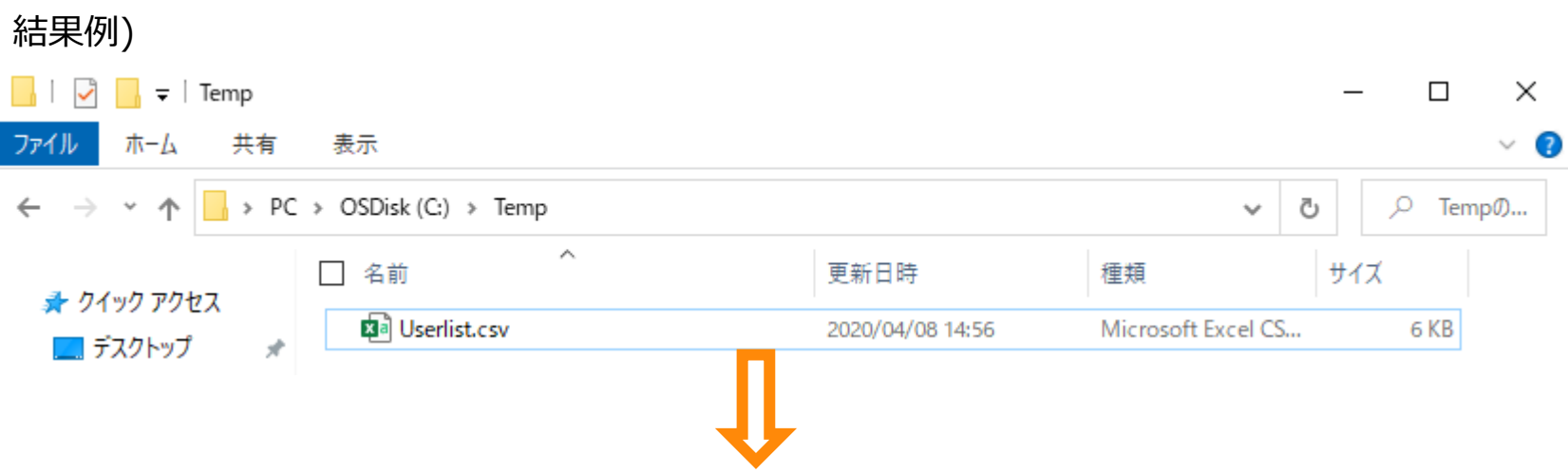


9. ユーザーの一括編集 (PowerShell)

ユーザーの 一括編集 (PowerShell) : 手順 2

入力例)

```
PS C:\WINDOWS\system32> Get-MsolUser -All | select UserPrincipalName,DisplayName,FirstName,LastName,Title,Department | Export-csv C:\temp\Userlist3.csv -NoTypeInformation -Encoding UTF8
```



1. 既存で登録されているユーザーの情報を以下のコマンドレットを入力し、エクスポートします。
※サンプルとして、属性を絞っております。
※ ファイルの格納先を、C:\temp にし
ファイル名 "UserList" に指定しております。

```
Get-MsolUser -All | select UserPrincipalName,DisplayName,FirstName,LastName,Title,Department | Export-csv C:\temp\Userlist.csv -NoTypeInformation -Encoding UTF8
```



9. ユーザーの一括編集 (PowerShell)

ユーザーの 一括編集 (PowerShell) : 手順 3

<前項で抽出した CSV>

UserPrincipalName	DisplayNa	FirstName	LastName	Title	Department
teacher1@univercolledge.onmicrosoft.com	先生 1	先生		1 先生	2年1組
teacher2@univercolledge.onmicrosoft.com	先生 2	先生		2 先生	2年1組

<情報方修正した CSV>

UserPrincipalName	DisplayName	FirstName	LastName	Title	Department
teacher1@univercolledge.onmicrosoft.com	吉田	先生		1 先生	2年1組
teacher2@univercolledge.onmicrosoft.com	山本	先生		2 先生	2年1組

<修正後抽出した CSV>

UserPrincipalName	DisplayName	FirstName	LastName	Title	Department
teacher1@univercolledge.onmicrosoft.com	吉田	先生		1 先生	2年1組
teacher2@univercolledge.onmicrosoft.com	山本	先生		2 先生	2年1組

1. 前項で保存したファイルを開きます。
2. エクスポートした CSV ファイルの変更したい箇所を修正します。
3. [Ctrl + S] で保存します。
4. 情報変更のため、以下のコマンドレットを実行します。

```
Import-CSV "<作成したCSV ファイルのパス>" |  
Foreach {Set-Msoluser -  
UserPrincipalName $_.UserPrincipalName  
-DisplayName $_.DisplayName -  
FirstName $_.FirstName -LastName  
$_.LastName ?Department  
$_.Department ?Title $_.Title}
```

5. 変更確認のため、以下のコマンドレットを実行します。

```
Get-MsolUser -All | select  
UserPrincipalName,DisplayName,FirstNa  
me,LastName,Title,Department | Export-  
csv C:¥temp¥Userlist.csv -  
NoTypeInfoation -Encoding UTF8
```

10. Team の一括作成

10. Team の一括作成

Team の一括作成：手順1

<サンプル CSV>



Teamlist

	A	B
1	DisplayName	Alias
2	1年1組	1-1
3	1年2組	1-2
4	1年3組	1-3
5	1年4組	1-4
6	2年1組	2-1
7	2年2組	2-2
8	2年3組	2-3
9	2年4組	2-4
10	3年1組	3-1
11	3年2組	3-2
12	3年3組	3-3
13	3年4組	3-4
14	4年1組	4-1
15	4年2組	4-2
16	4年3組	4-3
17	4年4組	4-4
18	5年1組	5-1
19	5年2組	5-2
20	5年3組	5-3
21	5年4組	5-4
22	6年1組	6-1
23	6年2組	6-2

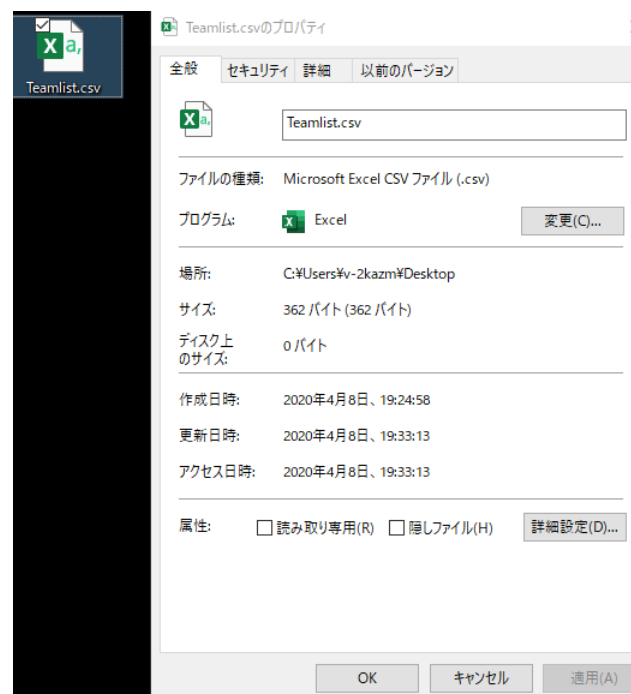
1. Excel を開きます。
2. A列 1 行目に DisplayName
B列 1 行目に Alias
と入力します。
3. A列 2 行目以降にチーム名
B列 2 行目以降に @ 以前にくる文字列
を入力します。
4. 画面左上の [ファイル] を押下します。
5. [名前を付けて保存] – [この PC] を押下します。
6. [ファイルの種類] にて “CSV UTF-8(コンマ区切り)”
を選択します。
7. [デスクトップ] を押下します。
8. [保存] を押下します。

10. Team の一括作成

Team の一括作成：手順2

```
PS C:\WINDOWS\system32> Import-Csv "C:\Users\#v-2kazm\Desktop#Teamlist.csv" | Foreach {New-Team -DisplayName $_.DisplayName -MailNickName $_.MailAddress -Visibility Private}
```

GroupId	DisplayName	Visibility	Archived	MailNickName	Description
e5c2ebde-a055-408f-9886-489ea783e522	1年1組	Private	False	2020_1_1	1年1組
57d8aece-a529-46e8-a13e-c18f5de3923c	1年2組	Private	False	2020_1_2	1年2組
6ebde3e1-7220-4b78-8ac8-2d9333bd13a4	1年3組	Private	False	2020_1_3	1年3組



1. 以下のコマンドレットを入力し、CSV ファイルを読み込みます。

```
Import-Csv "<ファイルパス + ファイル名>" |  
Foreach {New-Team -DisplayName  
$_.DisplayName -MailNickName  
$_.MailAddress -Visibility Private}
```

<補足：パスの確認方法>

デスクトップにファイルを置いた場合：

該当ファイル上にカーソルを合わせ、右クリックします。

プロパティが表示されるので、[場所]を確認します。

上記の <作成した CSV ファイルのパス> 欄に

入力する際は、C: ¥ xxx ¥ xxx ¥ xxx に

ファイル名.csv を追記してください。

11. チームへのメンバー追加

12. 用語

FAQ

Session 1.52.1

a: 13886
i: 12136

PWF: Action

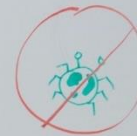
- ~~Leaderboard works?~~ ✓
- Expedition with friends ✓
- Friends displayed in PWF ✓
- Friends show up on Map ✓
- Friends show up in Mine ✓
- Income Boost correct applied ✓
- Changing Name ✓
- Link/Unlink to Platform → different friends

✓ Migration (after Updating)

- Friends still displayed
- Income Boost still correct

Options

- Check
- Sort alphabet
- Cheats still
- Log can be cleared





© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft、Windows、およびその他の製品名は、米国およびその他の国における登録商標または商標であるか、その可能性があります。
ここに記載されている情報は、情報提供のみを目的としており、このプレゼンテーションの発行時点でのマイクロソフトの見解を示したものです。市場の状況に対応して内容の変更が必要になるため、マイクロソフトは情報の内容に対して責任を負うものではありません。また、このプレゼンテーションの発行後の情報の正確性は保証いたしかねます。マイクロソフトは、このプレゼンテーションの情報に対して明示的、黙示的、または法的ないかなる保証も行いません。